

■令和4年11月定例記者会見

日時：令和4年11月17日(月)午後1時～2時

場所：吹田市役所高層棟4階特別会議室

市からの発表案件に対する質疑応答要旨

吹田市広報課

記者の皆様からご質問をお受けしたいと思います。

記者

まちなかりビングの閲覧席数はわかりますか。

吹田市担当者

約110席を予定しております。

記者

北千里地区公民館からどのような部屋が増えましたか。

吹田市担当者

工作室が1室増えております。

記者

部屋数が増えて結局何部屋でしょうか。

吹田市担当者

9部屋です。

会議室につきましては1～5まであり、あと和室、調理実習室、視聴覚室、工作室とございます。

記者

地下1階から地上2階で、地下1階は書庫ですか。

吹田市担当者

こちらの建物、のり面の上に建っておりまして、施設の前の歩道から建物へ上がる下のところの歩道部分が地下1階となっております、とくに諸室があるわけではなくエレベーターの乗り場があります。

記者

これでも地下1階という表記になるんですね。

吹田市担当者

そうですね。構造の表現で地下1階という記載になっております。

記者

5万5千冊は、全部開架図書というわけでもないですよ。書庫は同じ1階にあるんですか。

吹田市担当者

閉架書庫もございますので全部開架に入るというのではないんですけれども、収納力としましては、もうちょっとあるとは思いますが、開館時点では、5万5千冊を所蔵しているという形になります。

記者

どこかに書庫があるんですか。

吹田市担当者

事務室の中に書庫がございます。

記者

同じまちなかりビングの関係で、蔵書の数はずもと分室の時でどれくらいだったのが、どれくらい増えていますか。

吹田市担当者

分室の時は、2021年度決算ですけれども、だいたい約3万6千冊ございまして、こちらを今回5万5千冊に増冊分、予算をあげさせていただいております。

記者

増えているのはどういう種類の蔵書が増えていますか。

吹田市担当者

今回につきましては、特にYA世代と呼ばれる10代の方に対する書籍を充実させていただきまして、漫画のほうもはじめて北千里としては配置させていただいております。あと、子育て関係の書籍も増やしております。

記者

若い世代に向けた、漫画とか、あと複合施設なので子育て世代に向けた本とかを増やして利用を促進したいということですか。

吹田市担当者

はい。そうでございます。

記者

物価高騰の支援の件もいいですか。物価高騰と光熱費、医療資材等の経費増加への対策ということですが、具体的にこういう声が寄せられているとか、どういうことを現場の方々はしんどいと思われるのを受け止めているのか、具体的なお声が分かればと思うのですが。

吹田市担当者

それぞれ医師会であるとか薬剤師会、歯科医師会とありますけれども、会合の時とかに、物価の高騰で特に例えば歯科であったりすると金属の部分がかなり値上がりしていると。医師会では医療資材とかがかなり値上がりしているのですが、診療報酬がありますので、それに付加することができないというところで、全部、中で頑張らせていただいているということで、なんとかできないかという声は再三その間、聞いてきましたので、大阪府のほうで広域的に実施していただけないかということで見守ってきたところがありますけれども実施される動きがなかったということもありまして、今回予算をあげさせていただいております。

記者

分かればいいのですが、東京都はたしかやっていましたよね。府内においては、同じように珍しいと言っているのですかね。府内の自治体の中で先行的というか。

吹田市担当者

近隣他市の状況としましては、茨木市が9月の定例会に病院と診療所、薬局を対象にあげられております。また、高槻市でも検討されているということを知っておりますし、箕面市も、財政と話をしていると聞いております。

記者

ありがとうございます。

記者

細かい話で恐縮ですが、まちなかりビングの開館式典ですが、参加者とかどういう方が来られるのか、もし分かれば、当日取材する際に助かるんですけど。

吹田市担当者

開館式典は、最小限で実施をいたしますので、主催者といたしまして、市長、両副市長、教育長。それから来賓として、市議会の議長、副議長。あとですね、木材を提供いただきました能勢町の副町長に出席していただきます。

記者

分かりました。

年間の来館者はどれくらい見込んでいますか。

吹田市担当者

年間来館者の見込みですけれど、今年度というのではないですけれども、年間 16 万人の来館者を想定いたしております。

記者

これは分室とかの時代からするとかなり増えて、いろんな方が集えるスペースになるという想定でしょうか。

吹田市担当者

今現在ホームページにもあげておりますが、国交省のほうから交付金のほうをこの施設も受けているんですけれども、その中での来館目標値としまして、年間延べ人数は 16 万人というのは各図書館の利用頻度や、児童センターという新たな施設が年間毎年 3 万人ぐらいの利用があるというようなことを含めまして、16 万人と算定させていただいております。

記者

図書館にあたる場所は 2 階も一部入って 1 階と 2 階の一部ですね。確認ですけど。

吹田市担当者

1 階と 2 階、図書館を共有部分とするような形で、全体に拡がっていくような施設の配置になっております。

記者

設計士有名な方ですか。

吹田市担当者

特に有名な世間的に名の通った方というわけではございません。一般的な設計事務所でございます。

記者

世代の交流が生まれるというところで、技能を継承する講座というのが分かりにくくて、どんなものを具体的に想定されているのかなというのが。たとえばこんなの、みたいのがあれば。

吹田市担当者

例えば、しめ縄づくりの講座とかですね、そういった伝統的なものを大人から子供のほうに継承していくような講座を考えております。

記者

もう一個ぐらいありますか。

吹田市担当者

竹細工。

記者

ありがとうございます。

記者

ここは元、何があった場所ですか。分室が違う場所からここきたんですよね。元はどここの土地で何をしていた土地ですか。

吹田市担当者

元北千里小学校があった土地でございます。小学校の校舎があった場所でございます。

記者

北千里小学校すべての敷地を使ったわけではないですか。

吹田市担当者

そうですね。北千里小学校につきましては、古江台側に校舎が、あと、道を挟んで青山台側にグラウンドがございまして、その校舎側、古江台側の約半分をまちなかりビング北千里にしています。校舎側半分使用しております。

記者

ちなみに古江台側の残った半分は何になりますか。

吹田市担当者

今現在、市が保有しているのですが、これから用途につきましては何ができるのか検討しているところです。

記者

分かりました。ありがとうございます。

吹田市広報課

他に質問がないようでしたら、これで終了させていただきます。